

『中学校美術科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年4月23日 第3校時(50分)

(2) 場 所 美術室

(3) 学年・学級 第1学年 A組(30名)

使用教科書 美術1(光村図書)

(4) 題 材 名 「見つめ、感じ取り、描く」

(5) 指導する児童(生徒)の状況

【既習事項】

- 鉛筆による手のスケッチを行い、生徒はよく見て描くことを学んでいる。

【単元のねらい】

- 身近なものを見つめ、感じ取った特徴をどのようにあらわしたいかを考えて、材料や用具を工夫して描く。
- 身近なものを描いた作品を鑑賞し、さまざまな表現の工夫や作者の意図を感じ取る。

【児童(生徒)の状況】

- 美術の学習に対して意欲があり、熱心に取り組む生徒が多い反面、少数ではあるが、表現に対して苦手意識をもっている生徒もいる。
- 生徒同士の人間関係がよく、話し合い活動などは活発に行うことができる。

(6) 指導計画(全5時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第1次	<ul style="list-style-type: none"> 自分の日常生活の中で大切にしているもの、愛着を感じているものを見つける。【教科書 P10～13】 今回のモチーフ(描く対象)の準備について伝える。 	一斉 個別 グループなど	知識
第2次	<ul style="list-style-type: none"> スケッチを行い、対象から形や色のよさや美しさを感じ取り、発想・構想する。 下絵を描き、着彩する。 	個別	思考・判断・表現 知識・技能
第3次	<ul style="list-style-type: none"> 制作途中の作品の相互鑑賞【教科書 P10～13】 作品を鑑賞し、さまざまな表現の工夫を感じ取る。 表したい気持ちを伝えるための表現を工夫する。 	一斉 個別 グループなど	思考・判断・表現 知識・技能
第4次	<ul style="list-style-type: none"> 着彩する。 表したい気持ちを伝えるために、用具や技法を工夫し表現する。 	個別	知識・技能
第5次	<ul style="list-style-type: none"> 仕上がった作品の相互鑑賞 作品を鑑賞し、さまざまな表現の工夫や作者の意図を感じ取る。 	一斉 個別 グループなど	思考・判断・表現 態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。